# 'ちあふる"の判定結果から、 口に出せない悩みがわかり、 生徒と接するさっかけがつかめる。

埼玉県立川口東高等学校は、全日制普通科を有する男女共学校です。 例年、卒業生の約8割が進学をしており、その内の約半数が4年制大 学・短期大学に、残りの半数が専門学校にそれぞれ進んでいます。 今回、中学生をコロナ禍の中で過ごした生徒の内面を理解し、生徒 と関わるための糸口として、生徒理解調査『ちあふる』を1学年でご活 用いただきました。1学年主任の矢嶋先生にお話を伺いました。



埼玉県立川口東高等学校 1学年主任 矢嶋 由佳子先生

## ――「ちあふる」は、何年生を対象に、いつ頃実施 されましたか? また、ご活用の目的にはどのようなこ とがありましたか?

矢嶋先生 高校1年生を対象に『ちあふる[ライト版]※』 を2023年5月に実施しました。対象の新入生は中学3年 間をコロナ禍で過ごしてきました。そのため、メンタル面 で不安定な生徒が、他の学年に比べて多いように見受 けられました。コロナ対策は、各中学校によってさまざま であったと思われます。生徒がどのような想いで生活し てきたのか、何か内面に問題を抱えていないか、生徒 と関わるためのとっかかりを作るために、『ちあふる』の 客観データを活用することが目的でした。

※『ちあふる』には、生徒理解調査のみの[ライト版]と、生徒理 解調査+基礎能力検査の「スタンダード版]の2種類があります。

## -最近の生徒さんの特徴と、『ちあふる』実施後 の様子はいかがでしょうか。

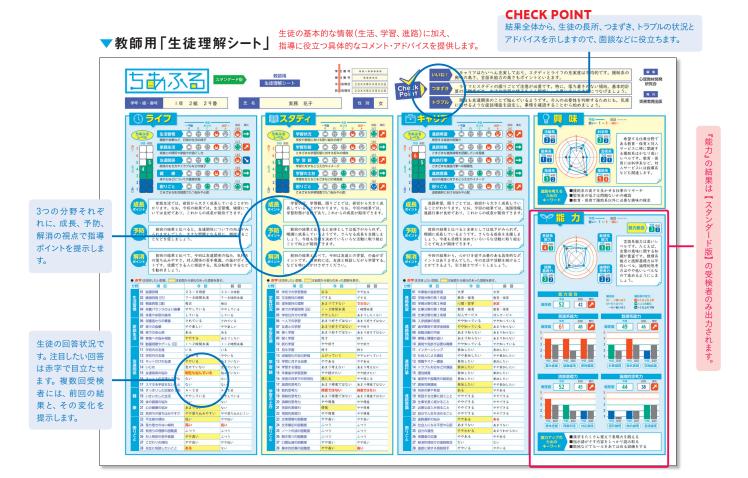
矢嶋先生 自己表現が不得手な生徒が多いように思い ます。想いを言語化できない、というのでしょうか。一方、

『ちあふる』の判定結果から、"保護者から尊重されて いると思わない""家で食事をするのは楽しくない"など、 家庭に複雑な事情を抱えた生徒が多いことがわかりまし た。悩みを一人で抱えてしまい、なかなか言いだせな い生徒でも、『ちあふる』の検査用紙に書くことで、表出 することができたのではないかと推察します。

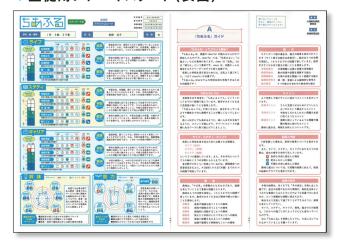
### ・判定結果は、いつ頃、どのようにフィードバック されましたか?

矢嶋先生 『ちあふる』の判定結果資料ですが、生徒用「ア ドバイスシート」は、1学期末に返却しました。その後のフィー ドバックの方法については、各担任にお任せしました。

教師用「生徒理解シート」ですが、"Check Point"の 項目で「つまずき」「トラブル」に関するコメントが「あー、 やっぱりな」という印象が多かったです。教師には生徒 理解および生徒指導の一助に、生徒には自己理解と1 学期の振り返りに、『ちあふる』の判定結果資料は役立 ちました。担任にとっては、学業成績が良くても、生徒 指導面では支援や介入の必要性が見つかるなど、有 用な客観データとなりました。担任によっては、生徒に、



#### ▼生徒用アドバイスシート(表面)



#### ▼生徒用アドバイスシート(裏面)



生徒用「アドバイスシート」の裏面にあるワークシート(「コメントを読んで感想を書こう」「レベルを上げる方法を考えよう」「ストレスについて考えよう」「困ったときの相談方法を確認しよう」)に取り組ませ、自己の気づきを促すといったクラスもありました。

――他にも判定結果を活用した場面があればお教 えください。 矢嶋先生 『ちあふる』の判定結果は、2~3年次でも 役に立ちます。生徒に気になる部分があった時、頭に 留めているだけだと、忘れてしまうことがありますが、文 字化されて残されていることで、確実に新担任に引き継 ぐことができます。また、持ち上がりで担任が続いた場 合でも、判定結果を見直すことで、「やっぱりそうだった」 と再確認できます。

(令和5年11月取材/文責·実務教育出版 三浦俊哉)